

2023年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 扶桑町商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価											備考				
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D評価					今後の展開・改善点等			
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値		総合評価	事業評価	自己評価	調査結果		満足度	補足	目標①	目標②
巡回・窓口相談指導事業	一般的に経営基盤の弱い小規模零細企業を中心に経営指導員等の商工会職員が事業所へ訪問し融資等の金融相談・申告時期の税務相談・労務相談等経営全般について様々な相談への指導をすることにより経営及び技術の改善を図り、健全な企業を育成するとともに、創業予定者を始めとした経営全般に係る相談窓口の設置により、経営改善に資する指導を行う。	・巡回窓口指導実企業数269社 ・巡回窓口指導延件数548件 ・課題解決提案件数11件 ・経営革新承認件数3件 ・経営力向上計画1件 ・先端設備導入計画2件 ・事業継続力強化計画1件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 78.3 %)	指標	課題解決提案件数 (達成度 55.0 %)	事務局職員の人員不足の影響により、巡回窓口相談及び課題解決の件数については当初予定していた目標を下回ってしまったが、経営力向上計画、先端設備導入計画、事業継続力強化計画支援などの経営を発展させる支援を実施することができた。	総合評価	B	事業評価	自己評価 B 目標達成度 C	調査結果 事業者への 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	4月から人員の体制が整備されることを鑑み、今年度の目標数値をそのまま堅持する。	○
記帳継続指導事業	商工会の職員が、個人事業主等を対象に正しい記帳方法の指導と決算・確定申告の指導を行い、適正な税務申告と経理の自計化や計数管理による経営力の向上に結び付ける。	・指導対象者数45人 ・指導延日数328日 ・指導延回数631回	創業者	指標	記帳指導事業者数 (達成度 100.0 %)	指標	(達成度 %)	記帳機械が事業者の記帳能力向上を図り、税務知識向上を図ることができた。	総合評価	A	事業評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	今後も事業者との継続的な記帳機械化支援を通じて、税務面から経営力の強化を図る。	
講習会開催事業	事業者を取り巻く経営環境、社会環境の変化に対応してもらうべく、新たな知識を習得する場所を提供する。特に、施策情報の提供などを強化することで、事業者の新たな取り組みへの支援を強化する。	講習会開催数及び受講予定者数 ・個別講習会 8回 97人 ・集団講習会 2回 6人	小規模事業者	指標	個別指導会参加者数 (達成度 74.6 %)	指標	集団講習会受講者数 (達成度 85.7 %)	講習会事業を実施することにより、労務・税務に関する具体的な支援を実施することができた。また、講習会を通して、経営に関する知識やインボイス制度などの情報提供を行うことができた。	総合評価	A	事業評価	自己評価 C 目標達成度 B	調査結果 事業者への 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 廃止 実施方法② 廃止	引き続き、小規模事業者からのニーズが高い税務・労務を中心とした内容の講習会を現行どおり実施していく。	
雇用促進事業	若年者に対しては、自己の適正や就業経験等に応じた職業選択並びに就職に関する知識や能力の向上を図る機会を提供する必要があることから、地元企業の紹介と各企業の人材確保をサポートするため、行政、商工会、商工会議所が主体となって開催する企業合同説明会を開催。イベントにあわせて若年者を対象に就職に関する個人相談会、就職支援セミナー、職業適性診断等の事業を実施し、求職活動中の若年者の職業人生設計やキャリア形成を支援することを目的とする。なお、大口町・扶桑町合同就職フェアについては6月は実地開催、7月はリモートでの実施を予定しており、3市2町（犬山・江南・岩倉・大口・扶桑）合同就職フェアについては実地での開催を予定している。	・大口町・扶桑町合同就職フェア（第1回） 時期 6月8日（木） 場所 扶桑町中央公民館 参加者数26人、参加事業者数33社 ・大口町・扶桑町合同就職フェア（第2回） 時期 7月27日（木） 場所 大口町役場2階会議室（オンライン開催） 参加者数5人、参加事業者数24社 ・3市2町（犬山・江南・岩倉・大口・扶桑）合同就職フェア 時期 9月27日（水） 場所 江南市・すいとぴあ江南 参加者数89人、参加事業者数35社	若年求職者	指標	セミナー参加者延人数 (達成度 85.7 %)	指標	参加延事業者数 (達成度 153.3 %)	大口町・扶桑町合同就職フェアについては、1回目はリアル開催で2回目はオンライン開催で実施した。人手不足・売手市場を反映し、求職参加者は目標値をクリアすることができなかった。	総合評価	A	事業評価	自己評価 B 目標達成度 A	調査結果 事業者への 必要性 B	満足度 A	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	目標・実施方法については現行どおりとするが、次年度の大口町・扶桑町合同就職フェアについては、全てリアル開催の予定であり、かつ初の土曜日での開催を予定している。	○
共同販売促進事業	地域商業・サービスの核であるイオン扶桑店並びに犬山市と連携を図り、共同で地域特産品販売事業を展開することにより、広く消費者を集めて、消費の喚起を図り、商業者の販売について面的な広がり支援する。	・イオン扶桑店周年記念物産展「扶桑・犬山フェア」事業と連携を図り、共同で地域特産品販売事業を展開することにより、広く消費者を集めて、消費の喚起を図り、商業者の販売について面的な広がり支援する。	イオン扶桑店、会員企業及び地域の消費者	指標	物産展参加事業者数 (達成度 88.9 %)	指標	(達成度 %)	イオン扶桑店、犬山市との連携による共同開催により、商圏消費者の購買意欲の喚起を図ることができた。また、参加店舗について、創業5年未満の事業者が2店舗あり、特にそれら事業者の販路拡大・開拓において効果的な支援を図ることができた。	総合評価	B	事業評価	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 事業者への 必要性 B	満足度 A	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	目標・実施方法については、引き続きイオン扶桑店と犬山市との地域連携を図りつつ現行どおり実施する。	

2023年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 扶桑町商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価													備考					
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D評価					今後の展開・改善点等						
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値		総合評価	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足		目標①	目標②			
IT促進事業	情報通信技術を活用して、会員企業にとって有益な経営情報を発信したり、ビジネスチャンスの拡大や、経営の質を高めるための取り組みを実施し、商工業の活性化に寄与する。また、外部に対して商工会の活動内容を発信することで、商工会のPR活動を行う。	・ホームページによる情報発信 内容 扶桑町商工会の会員情報やイベント等について情報発信 実績 ホームページアクセス数44,188件 Facebookリーチ数3,532件	会員企業及びホームページ閲覧者	指標	ホームページアクセス数 (達成度 147.3 %)			指標	Facebookへのリーチ数 (達成度 117.7 %)			SNSやホームページを通じて中小企業への情報提供及び地域外への情報発信を行うことができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	Facebook、LINEなどのSNSを活用しながらHPへの導線を確認することにより、情報発信を高めていく。
産業団体指導事業	柏森発展会・扶桑発展会の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展のための一助となり、ひいては扶桑町内の商業の活性化に資することを目的とする。	・発展会支援事業 内容 季節ごとに行う販売促進イベントの支援 実績 柏森発展会員数54名、扶桑発展会員数83名	柏森発展会・扶桑発展会	指標	柏森発展会会員数 (達成度 90.0 %)			指標	扶桑発展会会員数 (達成度 92.2 %)			町内商業の活性化を担う商業団体を支援することで、地域経済の活性化を促した。	総合評価	B	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	イベントなどの支援を通じて、両商業団体の支援を継続して行っていく。
税務関連団体指導事業	小牧法人会扶桑支部の税務支援団体・地域貢献団体の活動をサポートし、事業運営に協力することにより、適切な納税を推進するとともに、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展のための一助となる。	・税務関連団体支援事業 内容 改正税法研修会 時期 9/26(火) 場所 扶桑町商工会館 ・税金クイズ 時期 11/11(土) 場所 (社福)ふそう福祉会 ・新春講演会 時期 2/20(土) 場所 扶桑文化会館 実績 小牧法人会扶桑支部会員数177名	小牧法人会扶桑支部	指標	小牧法人会扶桑支部会員数 (達成度 98.3 %)			指標	(達成度 %)			地域内の法人事業者が加入する小牧法人会扶桑支部の支援を通じて、納税に対する啓発活動を行うことができた。	総合評価	B	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	小牧法人会扶桑支部の会員と協力し、他団体に加入している法人をターゲットに加入勧奨を行う。
創業支援事業	新規創業者は、創業に伴う、知識・経験などが不足しているようなケースも多くみられる。そのような創業者の創業計画の策定支援や資金計画支援などの事業の立ち上げに伴う支援はもとより、創業後、事業が軌道に乗るまでに廃業してしまう状況があることを踏まえて、創業者に寄り添った形でバックアップできるような支援体制を整えていく。	・2市2町（江南・岩倉・大口・扶桑）創業支援セミナー 時期 1月27日（土） 場所 岩倉市役所 参加者 18名 ・西尾張創業塾（いちい信用金庫との共催）全5回 時期 2月10日（土）～3月9日（土） 場所 いちい信用金庫ホール 参加者 25名 ・創業ハンズオン支援 時期 随時 場所 商工会窓口および事業所 創業相談件数 7件、内、5件創業	小規模事業者	指標	創業セミナー参加者数 (達成度 166.7 %)			指標	新規創業者数 (達成度 166.7 %)			創業支援セミナー・西尾張創業塾・創業ハンズオン支援で、地域の創業予定者に対して基本的な経営知識・情報を提供することができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	目標値・実施方法は現行どおりとし、引き続き新規創業者が事業者として軌道に乗れるよう支援を行っていく。
福利厚生事業	中小企業、小規模企業の経営・雇用の持続的な安定を図るために、各種共済制度の普及等、企業の健全な育成に資することを目的とする。	・共済促進事業 内容 小規模企業共済加入者100名、セーフティ共済加入者11名、中小企業退職金共済加入者2名、特定退職金共済加入者31名、中小企業共済196名、計340名	会員企業の事業主及び従業員	指標	各種共済加入者延人数 (達成度 94.4 %)			指標	(達成度 %)			事業者及び従業員の予期せぬ事態に備えた保証を提供する役割を担うことで、加入事業者の経営力強化に資することができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	2月、3月の税務申告期において、事業者の所得内容に適した共済加入促進を行っていく。
労働保険事業	事業主等の委託を受けて、事業主に代わって労働保険料の申告納付その他労働保険に関する各種の届出等の事務手続を行うことにより、中小事業主の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図ることを目的とする。	・労働保険事務代行事業 内容 労働保険料の申告納付と各種届出等の事務手続の代行 目標 労働保険事務組合委託事業所25企業	労働保険事務組合員	指標	事務組合委託事業者数 (達成度 100.0 %)			指標	(達成度 %)			労働行政と協力をしながら雇用保険・労災保険の事務を代行することにより、社会保険事務の適正化と普及に寄与しつつ、労働環境の整備を図ることができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	巡回・窓口相談において労働保険の加入勧奨・周知を強化し、目標・実施方法ともに現行どおりとする。

○

2023年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 扶桑町商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価											備考								
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D評価					今後の展開・改善点等							
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値		総合評価	実施評価	自己評価	調査結果		満足度	補足	目標①	目標②				
青年・女性部事業	青年部・女性部員間での交流や社会福祉を通じて地域との関わりを持つことにより、地域社会の発展に寄与することを目的とする。	・青年部事業 内容 視察研修をはじめ、ご当地商品の開発、地域イベントへの参加 青年部部員数18名 ・女性部事業 内容 視察研修をはじめ、セミナーの開催、地域イベントへの参加 女性部部員数44名	青年部員及び女性部員	指標	青年部部員数 (達成度 90.0 %)			指標	女性部部員数 (達成度 97.8 %)			事業後継者や共同経営者としての資質向上を図るために研修活動や地域貢献を中心とした活動を行った。また、青年部の夏祭出展、女性部の文化会館コンサートなど地域活性化事業などにも取り組むことができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 事業者への A 必要性 A	満足度 A A	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	青年部については防災をターゲットにした活動を行うことで、地域の担い手となる青年部員を増やしていく。女性部については、視察研修のみならず、一昨から実施しているにおけるイベントを継続する予定である。	一部 ○
セミナー事業	経営発達支援計画にもとづき、参加企業の経営発展に資する内容のセミナー事業を実施する。事業計画策定に繋げる刺激策を充実させることにより、経営計画の策定事業者のバイを増やしていく。	・セミナー事業 「仮想空間制作体験講習会」7/28、8/4、8/18、8/25 参加者延16名 「電子帳簿保存法セミナー」7/24、9/19、11/14 参加者延18名 「3級販売士要請講習会」8/17～10/26 計14日 参加者延168名	会員企業の事業主及び従業員	指標	参加者延人数 (達成度 202.0 %)			指標	(達成度 %)			仮想空間や電子帳簿保存など今日的なテーマの講習会を実施するとともに、本年は初めて資格取得に関する講習会も実施した。3級販売士の資格取得者は12名に及び、今後の自社の営業活動に活かされることが期待される。	総合評価	A	実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への A 必要性 A	満足度 A A	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	来年度は、従来どおり経営に必要な今日的なテーマの講習会を実施する計画である。	○
女性向実践型創業セミナー事業	経営発達支援計画にもとづき、創業者に必要な知識の提供から実際の運営までをサポートする。1ヵ月程度座学のセミナーを実施後、イオンモール扶桑において創業実習を行う。	・女性向実践型創業セミナー 時期 9/6～10/11 毎週水曜日 (10/4を除く 全5回) 場所 セミナー：扶桑町商工会 チャレンジショップ： イオンモール扶桑 参加者 セミナー：16名 チャレンジショップ：21名	女性創業者・創業希望者	指標	参加者人数 (達成度 160.0 %)			指標	(達成度 %)			セミナー・チャレンジショップを通して、創業のインキュベーション機能としての役割を果たすことができたことに加えて、地域内における女性創業者・創業予定者の掘り起こしを図ることができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への A 必要性 A	満足度 A A	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	きめ細かい支援を行うため、定員(10名)を決めて、実施したいので、目標数値・実施方法は現行どおりに行う。	○
展示会出展事業 (一部国補助金を活用予定)	経営発達支援計画にもと、扶桑町内における製造業を中心に技術力や商品力のPRの機会として展示会への出展を行うことで、販路の拡大を支援する。	・展示会出展事業 内容 メッセナゴヤ2023への出展 時期 令和5年11月8日～10日 参加企業数 リアル出展：3社 メタバース出展：8社	中小事業者	指標	参加企業数 (達成度 275.0 %)			指標	(達成度 %)			リアル出展3社に加えて、メッセナゴヤのリアルブースを1コマ商工会が使用し、初の試みとしてメタバース展示会を開催。リアル出展事業者に比べて、メタバース出展事業者の商談実績は芳しくなかったが、新たな商談のカタチを提示することができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への A 必要性 B	満足度 A B	補足	目標① 現行どおり 実施方法① 現行どおり	目標② 現行どおり 実施方法② 現行どおり	次年度以降もメッセナゴヤ会場にてメタバース展示会が開催できるか不透明なため、目標数値・実施方法は現行どおりのままとする。	○
若手後継者等育成事業	地域の小規模事業者において、事業の継続・発展には次期経営者となる若手後継者の資質向上が必要不可欠である。本年度は、青年部員を中心とした若手経営者・後継者の資質向上を図るテーマのセミナーを5日開催する。	・青年部資質向上セミナー 内容 青年部を中心とした若手経営者・後継者に必要な資質向上を図るテーマでのセミナーを開催 時期 令和5年9月～令和6年1月 全5回 目標参加者延人数38名 参加満足者延人数38名	若手後継者	指標	セミナー参加者延人数 (達成度 76.0 %)			指標	セミナー参加満足者延人数 (達成度 95.0 %)			セキュリティアクションセミナー及び労働法セミナーを通じて、参加した若手後継者等の経営力強化及び資質向上を図ることができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 事業者への A 必要性 B	満足度 A B	補足	目標① 下げる 実施方法① 現行どおり	目標② 下げる 実施方法② 現行どおり	新規の青年部主催セミナー企画の為、翌年度は実施回数を縮小して当事業を行う。	○

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。